

べた掛け用不織布の効果確認試験

JAようてい

高橋 宏昌



サンライズneo(雨)



サンライズneo(晴)



サンライズneo(全体)



パオパオ(雨)



パオパオ(晴)



パオパオ(全体)

試験目的

べた掛け作業省力化に向けた不織布の効果確認

試験作物
及び品種

人参(向陽)

試験資材
及び数量(規格)サンライズneo(3.0m×200m) 1本
(不織布の幅の両端が厚くなっているタイプ)

慣行資材

パオパオ

栽培方法

播種日
4月30日収穫日
8月25日【栽植密度】
畝幅：69cm
株間：6cm

資材使用期間

4月下旬～6月10日

試験区面積

600㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

べた掛け作業はパオパオと変わらず作業できた。
ピン止め作業については、サンライズneoの両サイドが厚くなっている分、折りたたんでピン止めする時間の短縮をすることができた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

収量調査は実施していないが、生育や収量で大きな差はみられなかった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

サンライズneo、パオパオとも展張時や使用中に破けることはなかった。また、風が不織布の下に入り、持ち上がり剥がれることはなかった。

作物が成長して不織布を持ち上がり引っ張られても破れたりすることはなかった。(ピン穴は若干広がっていた)

(4)保温効果について

調査は実施していないが、生育や収量で大きな差はみられなかったため、不織布の機能としては十分果たしていた。

モニター感想

不織布は展張する際に引っ張り伸ばすが、サンライズneoを展張した時の安心感があった。(強度があり破れないイメージ)

サンライズneoはピン止めるための折りたたみ作業の時間が短縮され、楽に作業することができた。

パオパオ同様に2年目以降も使用でき、破れるまで長く使用できると思う。

風抜けは問題ないと感じている。

JA担当者の感想(佐々木専任)

不織布の需要が多いため生産者の作業形態にあった資材を進めていきたいと考えている。今回のサンライズneoは両端が厚くなっているため、展張時の作業軽減ができるのでニーズはあると考えている。規格・供給体制・価格等の条件が合えば、進めていきたいと思う。

今後も少子高齢化は進んでいくため、少しでも農作業が軽減できる資材を探し、生産者に提案していきたいと考えている。

今後の使用について

継続して使用したい。
価格次第では今後も使用していきたい。

将来希望する資材について

農作業が少しでも楽できる資材を求めている。